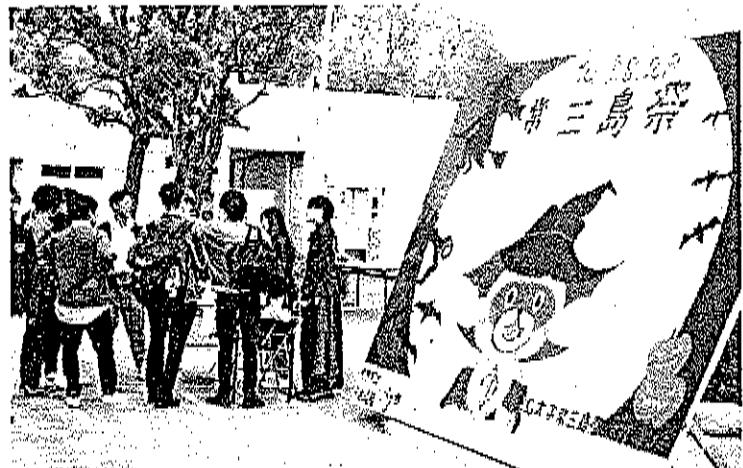


全国の大学祭に自衛隊出展



多くの学生や市民が訪れた徳島大学
「常三島祭」=10月29日、徳島市



徳島大学「常三島祭」のパンフレットに掲載された
航空自衛隊西部航空方面「常三島祭コンサート」の告知

敵基地攻撃能力の保有など大軍拡を進める岸田文雄政権は、自衛隊の人員体制を確保するための「人的基盤の強化」を推進。勧説の一環でもある広報活動を真面目な方針です。そうした中で近年、全国各地の大学祭に自衛隊が出展していることが分かりました。大学内で自衛隊の宣伝を行われることに「学問の自由」や「大学の自治」の侵害を感じる声が上がっています。

(丹田智之)

徳島大「今回限り」

国立の徳島大学（徳島市）にて10月下旬、学生の実行委員会による「常三島祭」が開催されました。例年にはない企画として注目されたのが、航空自衛隊の音楽隊によるコンサートです。

自衛隊の企画は実行委員会の提案でしたが、徳島大学を卒業した自衛官から後輩の学

生に直接、出展の打診があつたのが発端とされています。

当初、自衛隊側はコソサートの他に「車両の展示」や「制服（迷彩服）の試着」も提案していました。自衛隊出展の是非は教員の間でも議論になりました。実行委員会は、

団体による宣伝活動は「本来の趣旨から外れる」として河村保彦学長に説明を求めました。組合に対して大学側は、音楽活動やパネル展示のみ行なうように実行委員会を指導しました。（15面つづけ）

「一方的な宣伝」に懸念

であるべき」だとの声も上がりました。「自衛隊の一方的な宣伝になる」との懸念もあり、政府の安全保障政策への批判を含めた討論会を併せて実施することになりました。

（山口裕之中央執行委員長）

は、大学祭とは学生が研究や

サークル活動などの成果を披露する場であり、特定の外部

団体による宣伝活動は「本來

の趣旨から外れる」として河

村保彦学長に説明を求めまし

た。組合に対して大学側は、

音楽活動やパネル展示のみ行

なうように実行委員会を指導し

たとして「次年度は行わず、

今回に限り認める」と回答し

ました。（15面つづけ）